理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ		配当時数	配当月		
理科	4	大日本		6	～ 17	1	4	～	4

大単元(題材名)	季節と生き物(1)春の始まり		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ／自然愛護		

【到達目標】

知・技	○　春になり，いろいろな動物や植物が見られるようになったことがわかる。
	○　校庭などの屋外で生物を安全に観察することができる。
	○　動物や植物のようすを適切に記録カードに記録することができる。
思・判・表	○　季節と生物のようすの関係について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　1年間の生物のようすを観察する計画を立てることができる。
	○　動物や植物のようすを観察して，季節と生物のようすの変化を関係づけて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　春の動物や植物のようすを観察して，気づいたことをわかりやすく発表しようとする。
	○　春の動物や植物のようすに関心をもち，粘り強く観察しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　春になって，植物が発芽したり花を咲かせたり，動物が活動し始めたりすることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　気温と水温の測り方を理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　屋外で動物や植物を安全に観察している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　虫眼鏡や双眼鏡など，観察するための道具を安全に取り扱っている。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　記録カードのかき方を理解し，観察した生物のようすを正確に記録している。	B(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○　春の生物のようすと季節を関連づけて考え，言葉でわかりやすく表現している。	B(2)イ
	○　春の生物のようすについて，観察した結果をもとに発表し合い，季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　春の生物のようすに関心をもって，積極的に観察しようとしている。	
	○　季節と生物のようすの関係を調べる観察計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○　生物に関心をもって，大切にしようとしている。	
	○　春の生物のようすの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	身の回りの生物
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
春の始まりの生物のようす	1	○春の始まりの生物の様子を観察して、気付いたことを話し合う。	共通性・多様性/比較・関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		18	～	25	7	4	～	4

大単元(題材名)	2. 天気と気温		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○　1日の気温の変化の仕方は，天気によって違いがあることがわかる。
	○　晴れの日は1日の気温の変化が大きく，曇りや雨の日の気温の変化は小さいことがわかる。
	○　気温を正しく測り，その変化を表に記録することができる。
思・判・表	○　天気と気温との関係について，今までの経験などから根拠のある予想を立てることができる。
	○　1日の気温の変化を天気と関係づけてとらえ，晴れの日と，曇りや雨の日の1日の気温の変化について，折れ線グラフを使ってわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　天気と気温について粘り強く追究する活動を通して，1日の気温の変化には天気が関係していることを知り，天気による1日の気温の変化の違いをまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　天気によって，1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。	B(4)ア(ア)
	○　晴れの日と，曇りや雨の日の1日の気温の変化の特徴を理解している。	B(4)ア(ア)
	○　直射日光を避けた温度計や百葉箱などを利用して，気温を正しく測っている。	B(4)ア(ア)
	○　晴れの日と，曇りや雨の日の1日の気温の変化を，表や折れ線グラフに記録している。	B(4)ア(ア)
思・判・表	○　1日の気温の変化と天気とを関係づけて考え，わかりやすく表や折れ線グラフなどに表している。	B(4)イ
	○　立てた予想を発表している。	B(4)イ
	○　友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(4)イ
	○　1日の気温の変化について，観察した結果をもとに，天気と1日の気温の変化との関係について多面的に考察している。	B(4)イ
	○　考察から，晴れの日は1日の気温の変化が大きく，曇りや雨の日は1日の気温の変化が小さいことを導き出している。	B(4)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　天気と気温の関係について，自分なりに根拠のある予想を立てて観察している。	
	○　天気と気温の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	太陽と地面の様子
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
天気と気温	1	○晴れの日と曇りの日の気温について気付いたことを話し合う。	時間的・空間的/比較、関係付け
	5	○天気によって1日の気温の変化に、どのような違いがあるか、予想する。 ★ 予想しよう ○気温の測り方を知る。 ○天気と1日の気温の変化の関係を調べる。 ◆ 観察 ○折れ線グラフの表し方や読み方を行う。	時間的・空間的/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	時間的・空間的/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		6	～	17	7	5	～	5

大単元(題材名)	季節と生き物(1)春の始まり		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ／自然愛護		

【到達目標】

知・技	○　春になり，いろいろな動物や植物が見られるようになったことがわかる。
	○　校庭などの屋外で生物を安全に観察することができる。
	○　動物や植物のようすを適切に記録カードに記録することができる。
思・判・表	○　季節と生物のようすの関係について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　1年間の生物のようすを観察する計画を立てることができる。
	○　動物や植物のようすを観察して，季節と生物のようすの変化を関係づけて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　春の動物や植物のようすを観察して，気づいたことをわかりやすく発表しようとする。
	○　春の動物や植物のようすに関心をもち，粘り強く観察しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　春になって，植物が発芽したり花を咲かせたり，動物が活動し始めたりすることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　気温と水温の測り方を理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　屋外で動物や植物を安全に観察している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　虫眼鏡や双眼鏡など，観察するための道具を安全に取り扱っている。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　記録カードのかき方を理解し，観察した生物のようすを正確に記録している。	B(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○　春の生物のようすと季節を関連づけて考え，言葉でわかりやすく表現している。	B(2)イ
	○　春の生物のようすについて，観察した結果をもとに発表し合い，季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　春の生物のようすに関心をもって，積極的に観察しようとしている。	
	○　季節と生物のようすの関係を調べる観察計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○　生物に関心をもって，大切にしようとしている。	
	○　春の生物のようすの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	身の回りの生物
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
1年間の観察	1	○春の始まりの生物の様子を観察して、気付いたことを話し合う。	共通性・多様性/比較・関係付け
	1	○生物の様子は、季節によってどのように変わっていくのか、予想する。 ★ 予想しよう ○水温の測り方を知る。	共通性・多様性/比較・関係付け
春の生物のようす	2	○気温と動物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察1 ○気温と植物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察2	共通性・多様性/比較・関係付け
	3	○種をまく。 ○気温と育てている植物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察3	共通性・多様性/比較・関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ		配当時数	配当月	
理科	4	大日本		32	～ 43	8	5	～ 6

大単元(題材名)	3. 電気のはたらき		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○　電流，直列つなぎ，並列つなぎについてわかる。
	○　乾電池をつなぐ向きを変えると，電流の向きが変わることがわかる。
	○　乾電池の数やつなぎ方を変えると，電流の大きさが変わることがわかる。
	○　回路を正しく作ることができ，乾電池や簡易検流計を使った実験を安全に行うことができる。
思・判・表	○　モーターを速く回す方法について，これまでの学習や経験から，根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　予想や仮説を確かめるための実験計画を立てることができる。
	○　複数の実験の結果から論理的に思考し，結論を導き出すことができる。
	○　乾電池をつなぐ向きと電流の向きとを関係づけてとらえ，その関係を図や言葉などでわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　電流のはたらきについて粘り強く追究する活動を通して，電流の大きさには乾電池のつなぎ方が関係していることを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　回路を流れる電気の流れを電流ということを理解している。	A(3)ア(ア)
	○　2つの乾電池のつなぎ方には，直列つなぎと並列つなぎがあることを理解している。	A(3)ア(ア)
	○　簡易検流計の使い方を理解している。	A(3)ア(ア)
	○　2つの乾電池を正しくつないで，電流の実験を安全に行っている。	A(3)ア(ア)
	○　乾電池の向きを変えると電流の向きが変わり，モーターの回転が逆になることを理解している。	A(3)ア(ア)
	○　乾電池の数やつなぎ方を変えると電流の大きさが変わり，モーターの回転の速さや豆電球の明るさが変わることを理解している。	A(3)ア(ア)
思・判・表	○　乾電池のつなぎ方と電流の大きさとの関係について，乾電池の数やつなぎ方によってモーターの回転の速さが変わったことから，根拠のある予想や仮説を立てている。	A(3)イ
	○　立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	A(3)イ
	○　友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	A(3)イ
	○　予想を確かめるための実験を計画している。	A(3)イ
	○　乾電池をつなぐ向きを変える実験結果から，乾電池をつなぐ向きを変えると電流の向きも変わることを導き出している。	A(3)イ
	○　回路に流れる電流の大きさとモーターの回る速さや豆電球の明るさとを関係づけて考え，それを図や言葉でわかりやすく表現している。	A(3)イ
	○　乾電池，スイッチ，豆電球，モーターの電気用図記号を知り，その記号を使って回路図に表している。	A(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　乾電池をつなぐ向きと電流の向きとの関係について問題をつかみ，根拠のある予想・仮説を立てて実験し，結果から自分の考えをまとめている。	
	○　乾電池の数やつなぎ方と，モーターの回る速さとの関係を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○　電流のはたらきの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	電気の通り道
	年	

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
乾電池のはたらき	1	○乾電池を使ってモーターを回したときに、気付いたことを話し合う。	量的・関係的/比較、関係付け
	1	○乾電池の向きを変えると、電流の向きが変わるか、予想する。 ★ 予想しよう ○簡易検流計の使い方を知る。 ○乾電池の向きと電流の向きを関係付けて調べる。 ◆ 実験1	量的・関係的/比較、関係付け
	1	○深めよう「電流の向きをたしかめてみよう！」を行う。	量的・関係的/比較、関係付け
乾電池のつなぎ方	1	○直列つなぎと並列つなぎにしてモーターなどを動かす。	量的・関係的/比較、関係付け
	2	○直列つなぎと並列つなぎで、モーターの回る速さや豆電球の明るさが変わるのはどうしてか、予想する。 ★ 予想しよう ○乾電池のつなぎ方と電流の大きさを関係付けて調べる。 ◆ 実験2	量的・関係的/比較、関係付け
	1	○作ってみよう「かん電池で動くおもちゃを作ってみよう！」を行う。	量的・関係的/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	量的・関係的/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ		配当時数	配当月		
理科	4	大日本		74	～ 85	6	6	～	6

大単元(題材名)	4. とじこめた空気や水		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○　空気はおし縮められるが，水はおし縮められないことがわかる。
	○　注射器を使って，閉じ込めた空気や水をおしたときのようすを調べる実験を安全に行うことができる。
	○　閉じ込めた空気や水をおしたときの体積の変化と手応えを調べる実験の結果を，適切に記録することができる。
思・判・表	○　閉じ込めた空気や水をおす実験について，これまでの学習や経験から，根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　予想や仮説を確かめるための実験計画を立てることができる。
	○　閉じ込めた空気をおしたときの体積の変化と手応えの大きさを関係づけてとらえ，その関係を図や言葉でわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　空気と水の性質について粘り強く追究する活動を通して，空気はおし縮めることができるが，水はおし縮めることができないことを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　閉じ込めた空気をおすと空気の体積は小さくなることと，体積が小さくなれば手応えが大きくなることを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)
	○　閉じ込めた水はおし縮められないことを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)
	○　閉じ込めた空気や水をおし縮める実験を安全に行い，その結果を正確に記録している。	A(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○　閉じ込めた空気をおしたときの体積の変化と手応えから，問題を見つけている。	A(1)イ
	○　閉じ込めた空気をおす実験について，空気鉄砲で玉を飛ばした活動から，根拠のある予想や仮説を立てている。	A(1)イ
	○　友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	A(1)イ
	○　予想を確かめるための実験を計画している。	A(1)イ
	○　閉じ込めた空気をおしたときの注射器の中の空気のようすを考え，図に表している。	A(1)イ
	○　閉じ込めた空気に加える力の大きさと手応えの大きさとを関係づけてとらえ，言葉でわかりやすく表現している。	A(1)イ
	○　閉じ込めた空気や水をおし縮める実験結果から，空気はおし縮められるが，水はおし縮められないことを導き出している。	A(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　閉じ込めた空気に力を加える実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○　閉じ込めた水に力を加えたときのようすを調べるとき，根拠のある予想・仮説を立てて実験し，結果から自分の考えをまとめている。	
	○　空気と水の性質の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
とじこめた空気	1	○空気を袋に閉じ込め、圧してみて気付いたことを話し合う。	質的・実体的/比較、関係付け
	2	○閉じ込めた空気に力を加えると、空気の体積はどのようになるか、また、圧し返す力はどのようになるか予想する。 ★ 予想しよう ○加えた力の大きさと、空気の体積や圧し返す力を関係付けて調べる。 ◆ 実験1 ○深めよう「空気のようすを図に表してみよう！」を行う。	質的・実体的/比較、関係付け
とじこめた水	1	○閉じ込めた水に力を加えると、水の体積はどのようになるか、予想する。 ★ 予想しよう ○加えた力の大きさと、水の体積を関係付けて調べる。 ◆ 実験2	質的・実体的/比較、関係付け
	1	○作ってみよう「ふん水や水でっぽうを作ってみよう！」を行う。	質的・実体的/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	質的・実体的/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ		配当時数	配当月	
理科	4	大日本		44	～ 51	5	7	～ 7

大単元(題材名)	季節と生き物(2)夏		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ／自然愛護		

【到達目標】

知・技	○　春と夏の生物のようすの違いがわかる。
	○　校庭などの屋外で生物を安全に観察することができる。
	○　夏の動物や植物のようすを，記録カードに記入することができる。
	○　春から夏にかけての動物や植物のようすの変化と季節との関係がわかる。
思・判・表	○　サクラやヒョウタンなどのようすや，動物などの種類や数を観察し，図や言葉でまとめることができる。
	○　動物や植物のようすを観察して，季節と生物のようすの変化を関係づけて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　夏の動物や植物のようすを観察して，気づいたことをわかりやすく発表しようとする。
	○　夏の動物や植物のようすに関心をもち，粘り強く観察しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　夏になって，動物の活動が盛んになったり，植物が大きく成長したりすることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　夏の生物のようすを安全に観察し，記録カードに正確に記録している。	B(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○　夏の動物や植物のようすを図や言葉などでわかりやすく表現している。	B(2)イ
	○　夏の生物のようすについて観察した結果をもとに発表し合い，季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　夏の生物のようすに関心をもって，積極的に観察しようとしている。	
	○　夏の生物のようすの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	
	○　生物に関心をもって，大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	身の回りの生物
4	年	季節と生物(春)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
夏の生物のようす	5	○気温と動物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察1 ○気温と植物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察2 ○気温と育てている植物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察3	共通性・多様性/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

理科　第４学年　評価規準

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		52	～	57	3	7	～	7

大単元(題材名)	星や月①星の明るさや色		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○　星によって明るさや色に違いがあることがわかる。
	○　星座早見を使って，夏の大三角のアルタイル，デネブ，ベガ，さそり座のアンタレスを見つけることができる。
	○　夜，おとなと一緒に，安全に星を観察することができる。
思・判・表	○　夏の星を明るさや色に着目しながら観察して，気づいたことをわかりやすく発表できる。
主体的に学習に取り組む態度	○　星の明るさや色について粘り強く追究する活動を通して，星には明るさや色に違いがあることを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　夏に見られる星や星座がわかり，星によって明るさや色に違いがあることを理解している。	B(5)ア(イ)
	○　星座早見を正しく使って，星を探している。	B(5)ア(イ)
	○　野外で星を観察する際に注意すべきことを理解している。	B(5)ア(イ)
思・判・表	○　星の明るさや色について調べたことを，言葉や図などを使ってわかりやすく表現している。	B(5)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　夏に見られる星や星座に興味をもち，進んで観察したり調べたりしている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	太陽と地面の様子(日陰の位置と太陽の位置の変化)
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
星の明るさ色	1	○星の明るさや色について気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	時間的・空間的/比較、関係付け
	2	○星の明るさや色の違いを比べながら調べる。 ◆ 観察（夜間）	

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		44	～	51	3	9	～	9

大単元(題材名)	季節と生き物(2)夏の終わり		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ／自然愛護		

【到達目標】

知・技	○　春と夏の生物のようすの違いがわかる。
	○　校庭などの屋外で生物を安全に観察することができる。
	○　夏の動物や植物のようすを，記録カードに記入することができる。
	○　春から夏にかけての動物や植物のようすの変化と季節との関係がわかる。
思・判・表	○　サクラやヒョウタンなどのようすや，動物などの種類や数を観察し，図や言葉でまとめることができる。
	○　動物や植物のようすを観察して，季節と生物のようすの変化を関係づけて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　夏の動物や植物のようすを観察して，気づいたことをわかりやすく発表しようとする。
	○　夏の動物や植物のようすに関心をもち，粘り強く観察しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　夏になって，動物の活動が盛んになったり，植物が大きく成長したりすることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　夏の生物のようすを安全に観察し，記録カードに正確に記録している。	B(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○　夏の動物や植物のようすを図や言葉などでわかりやすく表現している。	B(2)イ
	○　夏の生物のようすについて観察した結果をもとに発表し合い，季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　夏の生物のようすに関心をもって，積極的に観察しようとしている。	
	○　夏の生物のようすの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	
	○　生物に関心をもって，大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	身の回りの生物
4	年	季節と生物(春)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
夏の終わりの生物のようす	3	○気温と生物の様子の関係を調べる。 ◆観察	共通性・多様性/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		26	～	31	10	9	～	10

大単元(題材名)	雨水のゆくえ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ		

【到達目標】

知・技	○　水は高い所から低い所へと流れて集まることがわかる。
	○　水の染み込み方は，土の粒の大きさによって違いがあることがわかる。
	○　土の粒の大きさと水の染み込み方を調べる実験を適切に行い，その結果を記録することができる。
思・判・表	○　地面を流れる水の流れ方について，これまでの学習や経験から，根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　水の流れる方向と地面の傾きを関係づけてとらえ，その関係を図や言葉でまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　地面を流れる水のゆくえについて粘り強く追究する活動を通して，水は土の粒の大きさによって染み込み方が違うことを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　水は高い所から低い所へと流れて集まることを理解している。	B(3)ア(ア)(イ)
	○　水の染み込み方は，土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。	B(3)ア(ア)(イ)
	○　土の粒の大きさと水の染み込み方を調べる実験を適切に行い，その結果を記録している。	B(3)ア(ア)(イ)
思・判・表	○　水の染み込み方と土の粒の大きさの違いを関係づけてとらえ，その関係を言葉でわかりやすく表現している。	B(3)イ
	○　地面を流れる水の流れ方について，これまでの学習や経験から，根拠のある予想や仮説を立てている。	B(3)イ
	○　立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	B(3)イ
	○　友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　水たまりのできている地面とできていない地面のようすから，水の染み込み方について，問題を見つけている。	
	○　土の粒の大きさと水の染み込み方を調べる実験を行うとき，根拠のある予想・仮説を立て，実験結果から自分の考えをまとめている。	
	○　地面を流れる水のゆくえの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
流れる水のゆくえ	1	○校庭など、雨が降っている間や雨が降ったあとの濡れた地面の様子を眺めて気付いたことを話し合う。 ○雨水の行方についての問題を整理する。	時間的・空間的/比較、関係付け
	1	○水は、どのように流れていくのか、予想する。 ★ 予想しよう ○地面の傾きと水の流れる方向の関係を調べる。 ◆ 観察	時間的・空間的/比較、関係付け
土のつぶの大きさとしみこみ方	2	○水は、地面にしみ込むのか、予想する。 ★ 予想しよう ○土の粒の大きさと水のしみ込み方との関係を調べる。 ◆ 実験1	時間的・空間的/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

空気中に出ていく水	2	○水は、空気中に出て行くのか、予想する。 ★ 予想しよう ○水が空気中に出て行くか、水を入れた入れ物を使って比べながら調べる。 ◆ 実験2	時間的・空間的/比較、関係付け
	1	○深めよう「地面にしみこんだ水がじょう発するか調べてみよう！」を行う。	時間的・空間的/比較、関係付け
空気中の水	2	○空気中には、水蒸気がどこにでも含まれているのか、予想する。 ★ 予想しよう ○水蒸気が空気中に含まれているか、保冷剤を使って比べながら調べる。 ◆ 実験3	時間的・空間的/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	時間的・空間的/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
流れる水のゆくえ	1	○校庭など、雨が降っている間や雨が降ったあとの濡れた地面の様子を眺めて気付いたことを話し合う。 ○雨水の行方についての問題を整理する。	時間的・空間的/比較、関係付け
	1	○水は、どのように流れていくのか、予想する。 ★ 予想しよう ○地面の傾きと水の流れる方向の関係を調べる。 ◆ 観察	時間的・空間的/比較、関係付け
土のつぶの大きさとしみこみ方	2	○水は、地面にしみ込むのか、予想する。 ★ 予想しよう ○土の粒の大きさと水のしみ込み方との関係を調べる。 ◆ 実験1	時間的・空間的/比較、関係付け
空気中に出ていく水	2	○水は、空気中に出て行くのか、予想する。 ★ 予想しよう ○水が空気中に出て行くか、水を入れた入れ物を使って比べながら調べる。 ◆ 実験2	時間的・空間的/比較、関係付け
	1	○深めよう「地面にしみこんだ水がじょう発するか調べてみよう！」を行う。	時間的・空間的/比較、関係付け
空気中の水	2	○空気中には、水蒸気がどこにでも含まれているのか、予想する。 ★ 予想しよう ○水蒸気が空気中に含まれているか、保冷剤を使って比べながら調べる。 ◆ 実験3	時間的・空間的/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	時間的・空間的/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ		配当時数	配当月	
理科	4	大日本		60	～ 73	8	10	～ 10

大単元(題材名)	星や月②月と星の位置の変化		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C国際理解，国際親善		

【到達目標】

知・技	○　月は，見える形が変化することや，時刻によって位置が変わることがわかる。
	○　星は，時刻によって位置は変わるが，並び方は変わらないことがわかる。
	○　月や星を適切な方法で安全に観察し，記録することができる。
思・判・表	○　月や星の位置の変化について，これまでの学習や経験から，根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　月や星の位置の変化を時間の経過と関係づけてとらえ，図や言葉でわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　月と星の位置の変化について粘り強く追究する活動を通して，月や星は1日のうちでも時刻によって位置が変わることを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　月は，日によって見える形が変わることや，1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。	B(5)ア(ア)(イ)(ウ)
	○　星は，1日のうちでも時刻によって位置が変わるが，並び方は変わらないということを理解している。	B(5)ア(ア)(イ)(ウ)
	○　方位磁針を使った月の方位の調べ方や，こぶしを使った月の高さの調べ方が正しくできている。	B(5)ア(ア)(イ)(ウ)
	○　時刻を変えたときも同じ場所で月や星の動きを適切に観察し，正確に記録している。	B(5)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○　時間の経過と月や星の見える位置を関係づけてとらえ，図や言葉でわかりやすく表現している。	B(5)イ
	○　月や星の位置の変化を調べる観察について，3年生で太陽の位置を調べた経験などから，根拠のある予想や仮説を立てている。	B(5)イ
	○　立てた予想を発表している。	B(5)イ
	○　友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(5)イ
	○　時間の経過に伴う星の位置や並び方を調べる観察結果から，時刻によって星の位置は変化するが，星の並び方は変化しないことを導き出している。	B(5)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　日によって形を変える月が，太陽と同じような動き方をしているのかという問題を見つけている。	
	○　時間の経過に伴う星の位置や並び方を調べた観察結果から，自分の考えをまとめている。	
	○　月と星の位置の変化の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	太陽と地面の様子(日陰の位置と太陽の位置の変化)
4	年	月と星(星の明るさ，色)

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
月の位置の変化	1	○月の位置について気付いたことを話し合う。	時間的・空間的/比較、関係付け
	2	○時間が経つと、半月の位置はどのように変わるか、予想する。 ★ 予想しよう ○月の位置の調べ方や月の記録の仕方を知る。 ○半月の位置の変化と時間の関係を調べる。 ◆ 観察1（③は課外）	時間的・空間的/比較、関係付け
	2	○時間が経つと、月の位置はどのように変わるか、予想する。 ★ 予想しよう ○満月の位置の変化と時間の関係を調べる。 ◆ 観察2（課外）	時間的・空間的/比較、関係付け
星の位置の変化	2	○星座早見の使い方を知る。 ○時間が経つと、星の位置や並び方はどのように変わるか、予想する。 ★ 予想しよう ○はくちょう座の位置や並び方の変化と時間を関係付けて調べる。 ◆ 観察3（課外）	時間的・空間的/比較、関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	時間的・空間的/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		86	～	97	8	10	～	11

大単元(題材名)	7. わたしたちの体と運動		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	A希望と勇気，努力と強い意志	D生命の尊さ／自然愛護	

【到達目標】

知・技	○　ヒトの体には，全身にたくさんの骨と筋肉があることがわかる。
	○　ヒトの体は，骨と筋肉のはたらきによって，関節のところで体を曲げたり，いろいろな動きができたりすることがわか
	○　本やコンピュータなどを利用して，ヒトやほかの動物の体のつくりと動き方を調べることができる。
思・判・表	○　骨や筋肉のつくりと体の動き方との関係について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることが
	○　ヒトの体の骨や筋肉のつくりと動き方を関係づけてとらえ，模型を使ったり言葉でまとめるなどして，わかりやすく記 ができる。
	○　動物の体のようすを骨と筋肉に着目して観察し，ヒトと比較して，図や言葉でまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　ヒトの体のつくりと運動について粘り強く追究する活動を通して，体のつくりと動き方には関係があることを知り， る。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指
知・技	○　ヒトの体の骨や筋肉のつくりと体の動き方との関係を理解している。	B(1)ア(ア)(イ
	○　本やコンピュータなどを適切に利用して，体のつくりや動きを調べている。	B(1)ア(ア)(イ
	○　骨と骨のつなぎ目で体が曲がることと，その部分を関節ということを理解している。	B(1)ア(ア)(イ
	○　ヒトの体には，たくさんの骨と筋肉があることを理解している。	B(1)ア(ア)(イ
	○　骨や筋肉のつくりを調べ，ノートに正確に記録している。	B(1)ア(ア)(イ
思・判・表	○　体のつくりと動きとを関係づけて考え，その関係を図や言葉などでわかりやすく表現している。	B(1)イ
	○　立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	B(1)イ
	○　友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	B(1)イ
	○　予想を確かめるための観察を計画している。	B(1)イ
	○　体のつくりについて観察した結果をもとに発表し合い，骨や筋肉のつくりと体の動き方との関係について多面的に考察している。	B(1)イ
	○　考察から，ヒトが体を動かすことができているのは，骨や筋肉のはたらきによることを導き出している。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　骨と筋肉のつくりに関心をもって，積極的に調べたり観察したりしようとしている。	
	○　骨や筋肉のつくりと体の動き方との関係について問題を見つけ，根拠のある予想・仮説を立てて観察し，観察した結果から自分の考えをまとめている。	
	○　ヒトの体のつくりと運動の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	身の回りの生物
	年	

理科　第４学年　評価規準

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・
うでが動くしくみ	1	○腕相撲をしたときの腕の様子について気付いたことを話し合う。	共通性・多様性/
	1	○腕の骨は、どのようなつくりになっていてどのように動くのか、予想する。 ★ 予想しよう ○骨のつくりと腕の動きを関係付けて調べる。 ◆ 観察1	共通性・多様性/
	2	○腕の筋肉は、どのようなつくりになっていて、どのように動くのか、予想する。 ★ 予想しよう ○筋肉のつくりと腕の動きを関係付けて調べる。 ◆ 観察2	共通性・多様性/
体全体のほねときん肉	2	○体全体の骨と筋肉は、どのようなつくりや仕組みになっているか、予想する。 ★ 予想しよう ○体のいろいろな部分について骨と筋肉を関係付けて調べる。 ◆ 観察３	共通性・多様性/
	1	○深めよう「身近な動物の、ほねときん肉のつくりや動き方を調べてみよう！」を行う。	共通性・多様性/
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	共通性・多様性/

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

かる。
できる。
説明すること
まとめようとす

指導要領の項目
)
)
)
)
)

理科　第４学年　評価規準

考え方
比較、関係付け
比較、関係付け
比較、関係付け
比較、関係付け
比較、関係付け
比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		98	～	105	3	11	～	11

大単元(題材名)	季節と生き物⑤秋		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ／自然愛護		

【到達目標】

知・技	○　夏と秋の生物のようすの違いがわかる。
	○　校庭などの屋外で生物を安全に観察することができる。
	○　秋の動物や植物のようすを，記録カードに記入することができる。
	○　夏から秋にかけての動物や植物のようすの変化と季節との関係がわかる。
思・判・表	○　サクラやヒョウタンなどのようすや，動物などの種類や数を観察し，図や言葉でまとめることができる。
	○　動物や植物のようすを観察して，季節と生物のようすの変化を関係づけて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　秋の動物や植物のようすを観察して，気づいたことをわかりやすく発表しようとする。
	○　秋の動物や植物のようすに関心をもち，粘り強く観察しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　秋になって，動物の活動が鈍くなったり，植物が枯れたり葉の色が変わったりすることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　秋の生物のようすを安全に観察し，記録カードに正確に記録している。	B(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○　秋の動物や植物のようすを図や言葉などでわかりやすく表現している。	B(2)イ
	○　秋の生物のようすについて，観察した結果をもとに発表し合い，季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　秋の生物のようすに関心をもって，積極的に観察しようとしている。	
	○　秋の生物のようすの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだでき	
	○　生物に関心をもって，大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	身の回りの生物
4	年	季節と生物(春，夏)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
秋の生物のようす	3	○気温と動物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察1 ○気温と植物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察2 ○気温と育てている植物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察3	共通性・多様性/比較/関係付け

理科　第４学年　評価規準

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		110	～	123	7	11	～	12

大単元(題材名)	8. ものの温度と体積		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○　空気，水，金属は，あたためたり冷やしたりすると体積が変化することがわかる。
	○　あたためたり冷やしたりしたときの体積の変化が大きいのは，空気，水，金属の順であることがわかる。
	○　物の温度と体積との関係を調べる実験を安全に行い，その結果を記録することができる。
思・判・表	○　物の温度と体積との関係について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　物の温度と体積を関係づけてとらえ，その関係を図や言葉でわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　物の温度と体積について粘り強く追究する活動を通して，物の温度と体積の変化には関係があることを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　空気，水，金属は，あたためると体積が大きくなり，冷やすと体積が小さくなることを理解している。	A(2)ア(ア)
	○　温度変化による体積の変化が大きいのは，空気，水，金属の順であることを理解している。	A(2)ア(ア)
	○　金属球膨張試験器などの実験器具を適切に扱い，安全に実験している。	A(2)ア(ア)
	○　実験の結果を，図や言葉で正確に記録している。	A(2)ア(ア)
思・判・表	○　物の温度と体積を関係づけて考え，その関係を図や言葉などでわかりやすく表現している。	A(2)イ
	○　立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	A(2)イ
	○　友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	A(2)イ
	○　予想を確かめるための実験を計画している。	A(2)イ
	○　空気，水，金属をあたためたり冷やしたりした結果をもとに発表し合い，物の温度と体積との関係について多面的に考察している。	A(2)イ
	○　考察から，空気，水，金属は，あたためたり冷やしたりすると体積が変化することを導き出している。	A(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　物の温度と体積との関係に関心をもって，積極的に実験しようとしている。	
	○　物の温度と体積との関係について，根拠のある予想・仮説を立てて実験し，結果から自分の考えをまとめている。	
	○　物の温度と体積の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
4	年	空気と水の性質
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
空気の温度と体積	1	○理科室のきまりを知る。 ○空のペットボトルを湯や氷水の中に入れたときのペットボトルの様子について、気付いたことを話し合う。	質的・実体的/比較/関係付け
	2	○空気の温度が変わると、空気の体積はどうなるか、予想する。 ★ 予想しよう ○空気の温度の変化と体積の変化を関係付けて調べる。 ◆ 実験１	質的・実体的/比較/関係付け
	1	○深めよう「空気の体積の変化をたしかめてみよう！」を行う。	質的・実体的/比較/関係付け
水の温度と体積	2	○水の温度が変わると、水の体積はどうなるか、予想する。 ★ 予想しよう ○水の温度の変化と体積の変化を関係付けて調べる。 ◆ 実験2	質的・実体的/比較/関係付け

理科　第４学年　評価規準

金属の温度と体積	2	○金属の温度が変わると、金属の体積はどうなるか、予想する。 ★ 予想しよう ○実験用ガスこんろの使い方を知る。 ○金属の温度の変化と体積の変化を関係付けて調べる。 ◆ 実験３	質的・実体的/比較/関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	質的・実体的/比較/関係付け

理科　第４学年　評価規準

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		124	～	127	2	12	～	12

大単元(題材名)	星や月③冬の星		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C国際理解，国際親善		

【到達目標】

知・技	○　冬の星も夏の星と同じように，明るさや色に違いがあることがわかる。
	○　冬の星も秋の星と同じように，時刻によって位置は変わるが，並び方は変わらないことがわかる。
	○　夜，おとなと一緒に，安全に星を観察することができる。
思・判・表	○　冬の星の時間の経過に伴う位置の変化や並び方について，これまでの学習や経験から，根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　星の位置の変化を時間の経過と関係づけてとらえ，図や言葉でわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　冬の星について粘り強く追究する活動を通して，秋の星と同じように時間の経過に伴って位置は変わるが並び方は変わらないことを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　冬の星も夏の星と同じように，明るさや色は星によって違っていることを理解している。	B(5)ア(イ)(ウ)
	○　冬の星も秋の星と同じように，1日のうちでも時刻によって位置が変わるが，並び方は変わらないということを理解している。	B(5)ア(イ)(ウ)
	○　時刻を変えたときも同じ場所で建物などを目印にして観察するなど，冬の星の動きを適切に観察し，正確に記録している。	B(5)ア(イ)(ウ)
思・判・表	○　星座の位置の変化を調べる観察について，秋の星座で調べた経験などから，根拠のある予想や仮説を立てている。	B(5)イ
	○　冬の星の観察結果から，時刻によって星の位置は変化するが，星の並び方は変化しないことを図や言葉でわかりやすく表現している。	B(5)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　冬の星の位置や並び方を調べるとき，根拠のある予想・仮説を立てて観察し，結果から自分の考えをまとめている。	
	○　冬の星の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	太陽と地面の様子(日陰の位置と太陽の位置の変化)
4	年	月と星(星の明るさ，色，星の位置の変化)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
冬の星	2	○冬の夜空を眺める。 ○深めよう「冬の星を調べよう！」を行う。	時間的・空間的/比較/関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ		配当時数	配当月	
理科	4	大日本		128	～ 135	5	1	～ 1

大単元(題材名)	季節と生物⑥冬		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ／自然愛護		

【到達目標】

知・技	○　秋と冬の生物のようすの違いがわかる。
	○　校庭などの屋外で生物を安全に観察することができる。
	○　冬の動物や植物のようすを，記録カードに記入することができる。
	○　秋から冬にかけての動物や植物のようすの変化と季節との関係がわかる。
思・判・表	○　サクラやヒョウタンなどのようすや，動物などの種類や数を観察し，図や言葉でまとめることができる。
	○　動物や植物のようすを観察して，季節と生物のようすの変化を関係づけて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　冬の動物や植物のようすを観察して，気づいたことをわかりやすく発表しようとする。
	○　冬の動物や植物のようすに関心をもち，粘り強く観察しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　秋と冬の生物のようすの違いや，冬越しの仕方について理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　冬になって，動物の姿があまり見られなくなったり，植物が枯れたりすることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　冬の生物のようすを安全に観察し，記録カードに正確に記入している。	B(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○　冬の動物や植物のようすを図や言葉などでわかりやすく表現している。	B(2)イ
	○　冬の生物のようすについて，観察した結果をもとに発表し合い，季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　冬の生物のようすに関心をもって，積極的に観察しようとしている。	
	○　冬の生物のようすの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	
	○　生物に関心をもって，大切にしようとしている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	身の回りの生物
4	年	季節と生物(春～秋)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
冬の生物のようす	3	○気温と動物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察1 ○低い温度の読み方を知る。 ○気温と植物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察2 ○気温と育てている植物の様子の関係を調べる。 ◆ 観察3	共通性・多様性/比較/関係付け
一年間をふりかえって	4	○生物の様子は、季節によってどのように変わってきたか、1年間の観察の結果からいえることを話し合う。 ○１年間の動物の活動や植物の育ち方が、気温とどのように関係しているか、話し合ったことを発表する。	共通性・多様性/比較/関係付け
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	

理科　第４学年　評価規準

理科　第４学年　評価規準

【学習活動】

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		136	～	149	8	1	～	2

大単元(題材名)	9. もののあたたまり方		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○　金属，水，空気について，それぞれのあたたまり方と，その差異点や共通点がわかる。
	○　実験用ガスこんろや示温シールなどを適切に扱うことができる。
	○　金属，水，空気のあたたまり方を調べる実験を安全に行い，その結果を正確に記録することができる。
思・判・表	○　水や空気のあたたまり方について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　金属のあたたまり方と水や空気のあたたまり方との違いをとらえ，その違いを言葉でわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　物のあたたまり方について粘り強く追究する活動を通して，金属，水，空気それぞれのあたたまり方を知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　金属は熱せられた所から順に遠くの方へあたたまっていくことを理解している。	A(2)ア(イ)
	○　水と空気は，熱せられた所がまずあたたまり，温度が高くなった所が上の方に動いていくことで全体があたたまることを理解している。	A(2)ア(イ)
	○　実験用ガスこんろや示温シールなどの実験器具を適切に扱い，安全に実験している。	A(2)ア(イ)
	○　実験の結果を，図や言葉で正確に記録している。	A(2)ア(イ)
思・判・表	○　線香の煙の動きと空気の動きを関係づけて考え，空気のあたたまり方について図や言葉などでわかりやすく表現している。	A(2)イ
	○　立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	A(2)イ
	○　友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	A(2)イ
	○　予想を確かめるための実験を計画している。	A(2)イ
	○　金属，水，空気をあたためた結果をもとに発表し合い，金属，水，空気のあたたまり方を比較しながら考察している。	A(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　物のあたたまり方に関心をもって，積極的に実験しようとしている。	
	○　物のあたたまり方について，根拠のある予想・仮説を立てて実験し，実験した結果から自分の考えをまとめている。	
	○　物のあたたまり方の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
4	年	金属，水，空気と温度(温度と体積の変化)
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
金ぞくのあたたまり方	1	○写真を見て、金属の中華鍋が温まる様子について気付いたことを話し合う。	質的・実体的/比較、関係付け
	2	○金属は、どのように温まるか、予想する。 ★ 予想しよう ○金属の熱したところと温まり方を関係付けて調べる。 ◆ 実験１	質的・実体的/比較、関係付け
水と空気のあたたまり方	2	○試験管に入れた水を熱して調べる。 ○水は、どのようにして全体が温まるか、予想する。 ★ 予想しよう ○水の温まり方を、金属の温まり方と比べながら調べる。 ◆ 実験2	質的・実体的/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

水と空気のあたたまり方	2	○暖房している教室の空気の温度をはかる。 ○空気は、どのようにして全体が温まるか、予想する。 ★ 予想しよう ○空気の温まり方を金属や水の温まり方と比べながら調べる。 ◆ 実験3	
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	

理科　第４学年　評価規準

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
			質的・実体的/比較、関係付け
			質的・実体的/比較、関係付け
			質的・実体的/比較、関係付け

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		150	～	165	8	2	～	3

大単元(題材名)	すがたを変える水		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護		

【到達目標】

知・技	○　水は温度によって，固体(氷)，液体(水)，気体(水蒸気)に姿を変えることがわかる。
	○　水蒸気は目に見えないことと，目に見える湯気は小さな水の粒であることがわかる。
	○　水は，氷になると体積が増えることがわかる。
	○　水を熱したり冷やしたりしたときの状態変化を調べる実験を適切に行い，その結果を正確に記録することができる。
思・判・表	○　水の温度と状態変化との関係について，今までの経験などから根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　水の三態変化を温度の変化と関係づけてとらえ，その関係を図や言葉でわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　水の三態変化について粘り強く追究する活動を通して，水は温度によってその姿を変えることを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　水は温度によってその姿を，固体(氷)，液体(水)，気体(水蒸気)に変えることを理解している。	A(2)ア(ウ)
	○　水蒸気は目に見えないことと，目に見える湯気は小さな水の粒であることを理解している。	A(2)ア(ウ)
	○　水は，氷になると体積が増えることを理解している。	A(2)ア(ウ)
	○　実験用ガスこんろなどの実験器具を適切に扱い，安全に実験している。	A(2)ア(ウ)
	○　水の温度の変化を，折れ線グラフなどにわかりやすく表している。	A(2)ア(ウ)
	○　水を熱したり冷やしたりする実験を適切に行い，その結果を正確に記録している。	A(2)ア(ウ)
思・判・表	○　水の姿の変化を温度の変化と関係づけて考え，その関係を図や言葉などでわかりやすく表現している。	A(2)イ
	○　立てた予想を発表したり，文章にまとめたりしている。	A(2)イ
	○　友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。	A(2)イ
	○　予想を確かめるための実験を計画している。	A(2)イ
	○　水を熱したり冷やしたりした実験の結果をもとに発表し合い，水の温度と状態変化の関係について多面的に考察している。	A(2)イ
	○　考察から，水は温度によって，固体，液体，気体に姿を変えることを導き出している。	A(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　水の三態変化に関心をもって，積極的に実験しようとしている。	
	○　水の三態変化と温度変化との関係について，根拠のある予想・仮説を立てて実験し，実験した結果から自分の考えをまとめている。	
	○　水の三態変化の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
4	年	金属，水，空気と温度(温度と体積の変化，温まり方の違い)

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
熱したときの水のようす	2	○水を熱したときの様子について、気付いたことを話し合う。 ○湯気を調べる。	質的・実体的/比較
	1	○水が沸騰しているときに出てくる泡は何か、予想する。 ★ 予想しよう ○温度の変化と袋の様子を関係付けて調べる。 ◆ 実験１	
	2	○水を熱し続けると、水の温度と様子はどのようになるか、予想する。 ★ 予想しよう ○温度の変化と水の様子を関係付けて調べる。 ◆ 実験2	
冷やしたときの水のようす	1	○水を冷やし続けると、水の温度と様子はどのようになるか、予想する。 ★ 予想しよう ○温度の変化と水の様子を関係付けて調べる。 ◆ 実験3	
温度と水のすがた	1	○水は温度によって固体、液体、気体にすがたを変えることをまとめる。	
	1	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	

理科　第４学年　評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ			配当時数	配当月		
理科	4	大日本		180	～	185	1	3	～	3

大単元(題材名)	季節と生き物⑦春のおとずれ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ／自然愛護		

【到達目標】

知・技	○　1年間の生物のようすを振り返って，季節ごとの生物のようすと気温の変化に関係があることがわかる。
	○　1年間の記録を，生物ごとにわかりやすく整理できる。
思・判・表	○　生物と気温との関係について，1年間の観察の結果から，根拠のある予想や仮説を立てることができる。
	○　動物や植物のようすを観察して，気温と生物のようすの変化とを関係づけて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○　1年間の生物のようすについて粘り強く追究する活動を通して，生物のようすには気温が関係していることを知り，まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○　1年間の生物のようすを観察した結果から，季節ごとの生物のようすと気温の変化に関係があることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○　1年間の記録を，生物ごとにわかりやすく整理している。	B(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○　生物と気温との関係について，これまでの観察などの結果から，根拠のある予想や仮説を立てている。	B(2)イ
	○　1年間の生物のようすを，季節を順に追って気温の変化と関係づけてまとめている。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○　1年間の生物のようすの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
3	年	身の回りの生物
4	年	季節と生物(春～冬)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
春のおとずれの生物のようす	1	○春のおとずれの生物の様子を観察して、気付いたことを話し合う。	共通性・多様性/比較/関係付け